



岡山市職員らと地元の抱える課題について意見交換する生徒たち

高 生徒にできる 瀬 地域貢献探る

近隣市町職員と意見交換

生徒たちができる地「グループに分かれ、地域貢献を探ろうと、瀬頃感じている問題点に戸高(岡山市東区瀬戸町光明谷)は8日、近減少を指摘した瀬戸町隣市町の職員らとの意見交換会を同校で開き、1年生約150人が地元の抱える課題について理解を深めた。生徒の主体性や課題解決能力を養うことを狙いに初めて企画。生徒たちは居住地別の21

役所職員が空き家の増

加やイノシシによる農作物被害の頻発といった現状を示したのに対し、生徒たちは「解決のために予算はどのように使われているか」などと質問した。岸本昌子さん(16)は「住んでいても知らない課題が多かった。より良いまちにするため自分ができることを見つけ、積極的に取り組みたい」と話した。

今後もグループごとに協議を重ね、夏休みに具体的な活動を始める予定。(水鏡佑香)